

■津田信吾 労働争議を切り抜けて勇名を馳せ、社長独裁体制で{鐘紡} コンツェルンを形成するも、〈敗戦〉で終焉。

っだしんご

明治14年政変1881＝ 愛知県額田郡能見町(岡崎市)で西山芳六の四男に生まれ、叔父の津田於菟の養子となる。

帝国憲法発布1889＝ 8歳：
帝国議会始・1890＝ 9歳：

日清戦争始・1894＝13歳：

Bushidou・・1899＝18歳： 福井中学を経て、

慶応義塾入学、

日露戦争終・1905＝24歳：

韓国反日暴動1907＝26歳：政治科を卒業し、_鐘淵紡績に入社。

アヲヲ* 創刊・1908＝27歳：_希望して職工を経験する研究熱心さで、

大逆事件判決1911＝30歳：_西大寺工場長に拔擢され、

明治天皇没・1912＝31歳：

民本主義・・1916＝35歳：_淀川工場長となった。

ロシア革命・1917＝36歳：

原敬首相暗殺1921＝40歳：

円本時代始・1926＝45歳：

世界恐慌・・1929＝48歳：_取締役となり、

海軍軍縮条約1930＝49歳：*副社長に就任、不況下で賃金引下げなどの合理化策を実施し、鐘淵紡績会社争議を誘発させたが、強硬姿勢で切り抜けて勇名を馳せ、社長に就任するに至る。合理化を進める一方で、積極的な海外市場開拓と新製品分野への進出をはかり、

満州事変・・1931＝50歳：_金輸出再禁止後の低為替を武器にする日本綿布のアジア市場席捲で貿易摩擦が発生するなかで、大日本紡績連合会の印度棉花不買運動を組織するなど対外強硬路線を主唱し、大陸政策でも財界の好戦外交派と目された。社長の任期制限を撤廃して独裁体制を固め、

芥川直木賞始1935＝54歳：

日中戦争始・1937＝56歳：

健保+総動員1938＝57歳：_鐘淵実業を設立して経営多角化を促進、

第二次大戦始1939＝58歳：*大日本紡績連合会会長に就任し、

日米開戦・・1941＝60歳：

大政翼賛会中央協力会議代表、大東亜建設審議会委員などにもなったが、林銑十郎内閣・近衛文麿内閣の商工相としての入閣要請は固辞。

年金+総武装1944＝63歳：*同社と鐘淵紡績を合併して鐘淵工業を設立し、重化学工業も含んだコンツェルンの主宰者となったが、

敗戦・・・・1945＝64歳：*敗戦後、戦犯容疑者として拘禁され、脳出血で倒れ、

自宅療養中、

極東裁判決・1948＝67歳：_没した。